



みどりに葉のしずく

平成24年度 高志高等学校同窓会
6月2日(土) 福井フェニックスプラザ



「思い出は、元気の源」 - 後輩の皆さんへ -

ここに文章を書く立場としては大変申し訳ないのですが、高校時代のことはほとんど覚えていません。今回の同窓会を機に、同級生や先輩方と接することがありますが、どの先生に教えていただいたのか、同じクラスに誰がいたのか、恐ろしいことに自分が何組だったのかさえうまく思い出せないのです。情けない限りです。これもひとえに、主たる目標もなく日々の生活に流され、好きなことしか目に入らず、将来を真剣に考えていなかったからでしょう。これを書きながら、もう一度高校時代をやり直したい、ドラえもん、お願いっ…といった心境であります。昔大人たちが「今の知識のまま10代に戻りたい」などと言っていたことを、48歳になった今、まったくその通りと感じています。大人の話、正しいこともたまにはあります。



3年7組 友田 晶子 仕事: トータル飲料コンサルタント/ソムリエ
住所: 東京都在住

「思い出は、元気の源」 - 後輩の皆さんへ -

ここに文章を書く立場としては大変申し訳ないのですが、高校時代のことはほとんど覚えていません。今回の同窓会を機に、同級生や先輩方と接することがありますが、どの先生に教えていただいたのか、同じクラスに誰がいたのか、恐ろしいことに自分が何組だったのかさえうまく思い出せないのです。情けない限りです。これもひとえに、主たる目標もなく日々の生活に流され、好きなことしか目に入らず、将来を真剣に考えていなかったからでしょう。これを書きながら、もう一度高校時代をやり直したい、ドラえもん、お願いっ…といった心境であります。昔大人たちが「今の知識のまま10代に戻りたい」などと言

っていたことを、48歳になった今、まったくその通りと感じています。大人の話、正しいこともたまにはあります。

もちろん覚えていることだってあります。1年生のときの夏休み。40日間を使ってアメリカにホームステイをしたこと。感動したのはディズニールンド。まだ日本に「ア」の字もないころ本場に行ったのです。感動はアトラクションではありません。おじいちゃんとおばあちゃんが園内をベアルックで手をつないで歩いていることにです。福井の土着文化しか知らなかった田舎の子には衝撃でした。と同時に、なんてすばらしい国なんだと思いました。このときは、ホームステイに行かせてくれた親に感謝でした。

もうひとつは、体育祭で応援団をやったこと。女子が多かった私のクラスは、きらびやかな衣装と派手な振り付けで、足りない運動力を“オーラ振りまき作戦”で補ったのです。思うような結果は出なかったけれど、あのときの思い出は眩しいものです。

それから所属していた新聞部。地味な部活でしたが、私はここで文章の書き方を学びました。取材をして、内容を噛み砕き、わかりやすいように表現しなおす作業。苦勞した「論評」を担当の先生にお褒めいただいた記憶は、その後の私の動力になっています。

高校時代のことも現在の状況も一切イバれることはありません。また、私が過ごした高校時代から今までの30年と、皆さんが過ごすこれからの30年はまったく違うものになるはず。だから、私の経験談など役には立たないでしょう。そのころにはドラえもんもいるかもしれませんね。ただ、親に感謝できることがあった、仲間との思い出があった、先生に褒めてもらったとぼんやりでも思い出せることは、日々の生活をやりくりする「元気の源」になります。これは、卒業後、東京でなんとか生きている私が、後輩の皆さんにお話できる唯一の事実です。

今は、仕事を通して福井をPRすることが多くなりました。高校時代はこれっぽっちも感じなかったことですが、今は自分を生み育ててくれた「福井」に感謝し、誇りと感じています。高校時代に思いもよらなかった感情を、大人になると持つということ、あるんですよ。

※後輩・在校生の皆さんに向けて一文を記しました